

## 『第77回高松宮記念杯競輪』選考基準等について

### 【参加選手】

正選手 108名（東西 各 54名） 補欠選手 10名（東西 各 5名）

### 【選考期間】

2025年10月から2026年3月（6ヶ月）

### 【選抜方法】

S級S班在籍者

高松宮記念杯競輪において3回以上優勝した者（開催時S級1班在籍者）

選考期間において2か月以上JCFトラック種目強化指定（A）に所属した者（開催時S級1班在籍者）

からにおいて選抜された者を除く、選考期間における東西別平均競走得点上位者から順次選抜する。

## 高松宮記念杯とは

高松宮記念杯競輪は、故高松宮殿下の御名を戴く伝統ある開催で、特別競輪では唯一の東西対抗形式として、トップ選手が東西に分かれて競走を行うことが大きな特徴です。

同競輪は滋賀県大津市内の近江神宮と高松宮家とのかかわりによって、昭和25年（1950年）から平成22年（2010年）まで、毎年大津びわこ競輪場で開催されていました。

特別競輪（GI）として正式に認定されたのは、昭和38年（1963年）5月の特別競輪等運営委員会の決定により第14回からで、それまでは特別競輪に準ずる扱いでした。

当初は男子選手の競走の他に女子選手の競走があったので、『高松宮および同妃賜杯』という名称で行われていましたが、昭和39年（1964年）10月に女子競輪が廃止になったため、同年度を最後に『高松宮妃賜杯』も廃止されました。

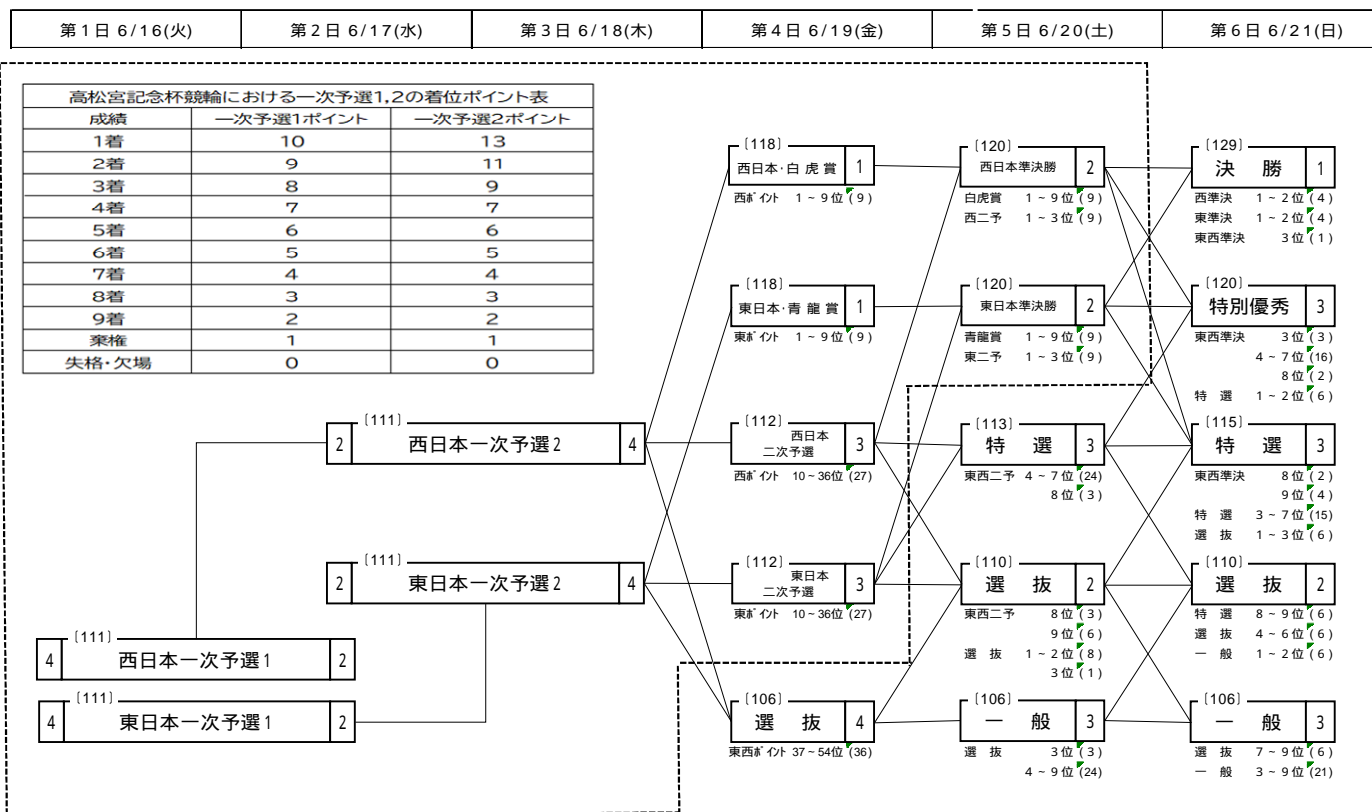
翌昭和40年（1965年）の第16回からは『高松宮賜杯』、昭和48年（1973年）の第24回からは『高松宮杯』と名称が変更されました。さらに、平成10年（1998年）の第49回からは『高松宮記念杯』と改められ、故高松宮宣仁親王殿下の御遺徳を偲び、その御意志を末永くお守りして継続することとなり、現在に至っています。

平成11年（1999年）の第50回からはそれまでの6日制から4日制へと改められました。

令和5年（2023年）の第74回の開催名称は大阪・関西万博協賛 第74回高松宮記念杯競輪 第1回パールカップと定められ、初のGIガールズケイリンであるパールカップが開催され4日制から6日制へと改められました。

- ・競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。
- ・車券の購入は20歳になってから
- ・競輪は適度に楽しみましょう

## 第77回高松宮記念杯競輪（レース平均点）



5日目までの勝ち上がりレース（点線の中のレース）は東（北日本～南関東）西（中部～九州）に分けたレース編成を行います。普段は東同士・西同士で連係する地区の選手たちも今回だけは分かれて戦うなど、通常とは異なるレース展開をお楽しみください。

- ・競輪とオートレースの売上の一部は、機械工業の振興や社会福祉等に役立てられています。
- ・車券の購入は20歳になってから
- ・競輪は適度に楽しみましょう